



ともに生きる人間のまち…みほ

社協だより

第 9 号

平成 4 年 3 月 20 日
(年 2 回)

編集 発行
社会福祉法人
美浦村社会福祉協議会
老人福祉センター内
☎ 85-0038



美浦村文化祭手話ダンスの発表 (手話ボランティアグループ)

ぐ
ち

ぐちをこぼしたって

いいがな

弱音を吐いたって

いいがな

人間なもの

たまには涙をみせたって

いいがな

生きているんだもの

相田 みつを

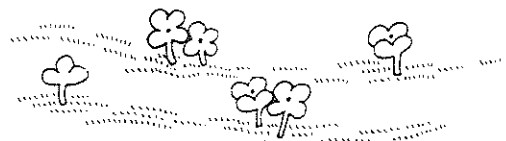
共同募金・歳末募金のご報告

共同募金（赤い羽根）は10月1日より、各戸500円を目標としてお願いをし、この集ったお金は社協の事業を進めるための財源として大きな役割を果たしております。

また、歳末募金も一戸当たり同額で、それぞれ、区長さんを通してのお願いをしております。平成3年度は別表のとおり、ご協力をいただきました。

ありがとうございました。

行政区	赤い羽根募金	歳末募金	行政区	赤い羽根募金	歳末募金
浜	32,000円	32,000円	山内	10,600円	10,500円
登宿	32,000	32,000	八井田	20,000	20,000
山戸丁	16,000	16,000	根火	18,000	18,000
田中	24,500	26,000	牛込	13,500	13,500
上宿	27,400	18,500	木	8,500	8,500
後宿	17,500	17,500	定光	8,000	8,000
受領	61,500	63,500	本橋	17,500	17,500
郷中	64,000	66,000	間野	7,000	7,000
大須賀津	46,500	46,500	土浦	48,500	45,500
茂呂	10,500	10,000	馬見山	9,000	8,500
宮地	14,000	14,000	馬掛	21,000	21,000
余郷	17,500	17,500	大山	50,000	49,500
石灘根古屋	87,500	87,500	大山東部	35,500	35,000
須賀	28,500	28,500	美駒A1	39,000	40,000
仲妻	10,000	10,000	美駒A2	23,900	25,500
給分	25,000	25,000	美駒A3	46,000	43,500
南原	31,500	30,000	美駒A4	33,600	34,300
興津	54,000	53,500	美駒A5	44,400	42,050
布佐東部	16,000	17,500	美駒A6	32,000	30,500
布佐西部	21,000	21,500	美駒A7	37,350	32,338
台	33,500	35,000	美駒A8	49,700	48,000
土屋	126,000	154,500	美駒A9	43,600	44,000
上舟子	88,000	89,000	美駒B	25,000	25,000
下舟子	109,000	107,500	美駒C	20,400	21,000
大塚	16,000	16,000	美駒D	18,000	19,000
谷中	6,500	6,500	美駒E1,E2	55,000	55,500
山王	7,500	7,500			
小計	1,023,400	1,049,000	小計	735,050	723,188
			合計	1,758,450	1,772,188



◆特別協力団体等関係募金(共同募金)内訳

●個人募金

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
宮崎 茂	1,000円	立正佼成会	50,000円	安中 小学校	18,800円
明治屋 酒店	10,000	元信太 大師教会	20,000	美浦 幼稚園	12,250
クローカー 役員一同	1,700	大谷 房子	5,500	丸善 パチンコ	50,000
竹藤 正	1,000	飯島 きよ	20,000	常陽 銀行窓 口	2,679
桜井 建設工業(有)	10,000	ボランティア街頭募金	44,872	土浦 信用金庫窓 口	1,131
かんきゅう堂 書店	10,000	大正 琴	3,958	社協 窓 口	1,671
(株)高橋 工務店	10,000	木原 小学校	71,026		
橋本 綾子	500	大谷 小学校	43,770	合 計	389,857円

●職域募金

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
総務課	2,200円	環境課	1,571円	教育委員会	1,300円
企画財政課	1,831	国保年金課	2,007	児童館	200
税務課	3,000	水道課	1,800	村長	1,000
住民福祉課	1,800	中央公民館	2,300	社協	3,300
経済課	1,718	下水道課	1,400	民生委員協議会	40,000
建設課	1,800	出納室	2,300		
保健予防課	1,730	大谷 保育所	2,300	合 計	76,357円
農業委員	2,000	木原 保育所	800		

平成3年度歳末たすけあい配分表

平成3年12月11日

歳末たすけあいの配布報告

配分対象者	世帯(人員)	金額	備考
生活保護世帯	11世帯 21人	152,000円	1世帯 12,000円 1人増 2,000円
要援護世帯	18世帯 44人	274,000円	同上
ひとり暮らし老人	43人	215,000円	1人 5,000円
寝たきり見舞金	35人	215,000円	1人 5,000円
老人寝衣(現物)	35人	108,150円	1衣 3,000円
身体障害者(重度、手帳一級)内訳	56人	280,000円	1人 5,000円
福祉施設入所者見舞品	19人	57,000円 56,302円	1人 3,000円
施設等見舞金ホープ作業所	1ヶ所 6人	40,000円	1ヶ所 10,000円 1人 5,000円
まごころ荘	1ヶ所	25,000円	1ヶ所 10,000円 1人 5,000円
県立養護学校	1ヶ所	10,000円	
おせち料理	52人	156,000円	1人 3,000円
地域福祉費他		122,634円 61,102円	
合 計		1,772,188円	

区長さんをお願いに伺い、皆様から戴いた、歳末募金は地区民生委員の協力により、右表のとおりお届けしましたので御報告いたします。
ありがとうございます。

三世代歩け歩け大会

この行事の取り組みも、これまで六回となる。老人クラブ連合会と共催をしていただいているので、会員の参加は容易なのだが、子供達となると、支部長さんも勧誘するのに大変御苦労なされているようである。

少数出産の傾向は地域に子供の数を少なくし、日曜日には塾通いなどの事情で集まらないとの苦情もある。こんなところにも、時代の移り替わりを感じるときであるが、それでも年々参加者が増加してきている。

おじいさん、おばあさんの手をとって歩きなさいとお話しても、子供達はさっさと歩いて行ってしまふ。勿論、手

をつないで歩く子もいる。これは祖父母の関係にあるのかどうかののだろうか。あるいは祖父母との同居の経験のない子が多くなっていることなどかなど、三世代のふれあい事業をおして考えさせられる。

長寿社会とは福祉の充実を求められる。この社会を支える人達がこの子らに願っていることは、高齢者の理解に一つはあると思われるからである。

この子達が、三世代の歩け歩けは何の意味があったのかと大人になって振り返っていただければ、今日のこの行事も大きな意義があると思う。

中学生食事サービスを実施

長寿社会の担い手は、僕達や、私達です!!と、ボランティアや協力校の指定をうけている美浦中学校では、糸賀勝先生の指導のもとに、夏休みの貴重な体験としてひとりぐらし老人の食事サービスをを行った。

紅一点ならぬ、女生徒の中に男の子一人が入って十八名が、栄養士の板倉先生のメニューにより、中央公民館の調理室で手際よく、心のこもった。

お弁当が三十三ヶ分作られる。お弁当の配達は、男女生徒それぞれ二人一組になって村内各地に届けられた。

このお弁当には、生徒達のおじいさん、おばあさんへとメッセージがつけられていた。いただいたお年寄りは、孫



からの便りと、お弁当を両手に涙していた人もあったと、社協に話が入っている。

地域の中で、ひとりぐらしになっても、あるいは寝たきりとなっても、地域に住む人達の善意と、行政や、社協の活動によって安心して暮らせる社会になってもいいものである。

中学生ボランティア、敬老会に活躍

県からボランティア普及協力校として指定をうけて三年目の、美浦中学校生徒達の活動も糸賀勝先生の指導をうけて充実してきた。

特に、平成三年度の敬老会の中学生のお手伝いは、関係者の注目となったようである。本会あてにも、当日出席した敬老者から、中学生の活動に感謝の手紙が寄せられている。当日の会場で、一番動いたのは中学生だと言わしめるほど、人々の目についたことなのだろう。

この子たちは、真から高齢者をいたわる気持を理解してくれているのだらうと大変心強く感じた。

この日は、本村で初めて百

歳に達する大山地区、金子キヨさんも元気で出席され、敬老会も充実したものになったことと思う。



金婚おめでとう

平成三年度に金婚を迎えられたカップルは十五組。五十年の結婚生活。夫婦相和し、協力し合った今日の幸福が、共々の元氣な顔のしわとなって現れているようである。

お祝いのために家庭を訪問し、市川会長の読み上げる褒状の前に並んで聞いているお二人には、喜びもあり、悲しみもあったらうとの思いをいたし、なお一層のご健勝を祈るひとときであった。

記念として、本会で撮影したお二人の写真を末長く大事にしていただくようお願いしたいものである。

平成3年度金婚式芳名(15組)

氏名	住所
増尾 茂・クメ	大谷 1262-3
山崎 正男・なを	馬掛 480
塚本 善助・あき	大須賀津 310-3
塚田清次郎・タツイ	舟子 1891-8
山本 泰全・サキ	土浦 2062
谷畑 市郎・あき	大山東部 2298の3
安瀬 一美・キクイ	大谷 652-2
高野瀬新太郎・タケ	土浦 1595-1
武田 藤一・たけ子	牛込 784
塚本 真・よしの	大須賀津 433
鈴木信太郎・ちか	信太 2021-2
葉梨 武雄・けい	木原 584
長崎 一・政子	興津 490
浅尾 誠・ます	下舟子 1846
田中 力男・喜代子	舟子 1816-1



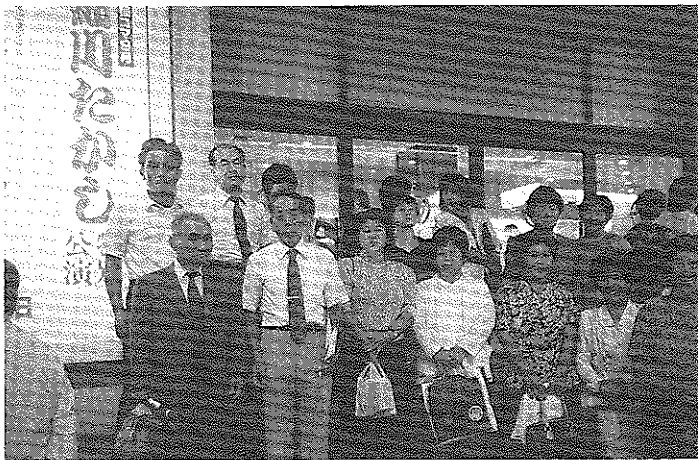
ねたきり老人等介護者研修

9月10日実施

演歌歌手、細川たかしの勘高い声が、二千有余人を一杯に呑み込んだ、新宿コマ劇場の隅々にまで響きわたる。

テレビでは、視ることができても、生のバンドで、色鮮やかな原色光線が行き交う中での歌謡ショーは、

美浦村から出て行くのには刺激が強過ぎる位。



肌で、そして直接にうける雰囲気、多分に日頃の介護のご苦労を吹き飛ばしてくれたのではと……勝手に思いを寄せるときである。

昨年に次いで二度目の寝た

きり老人等を介護されている方々の慰労研修会。多くの参加者を期待したが過半数にならなかった。

やはり行ってみたいが、「この人」を残して自分だけが楽しむわけには行かないとの心情が、不参加の主な理由であるようだ。

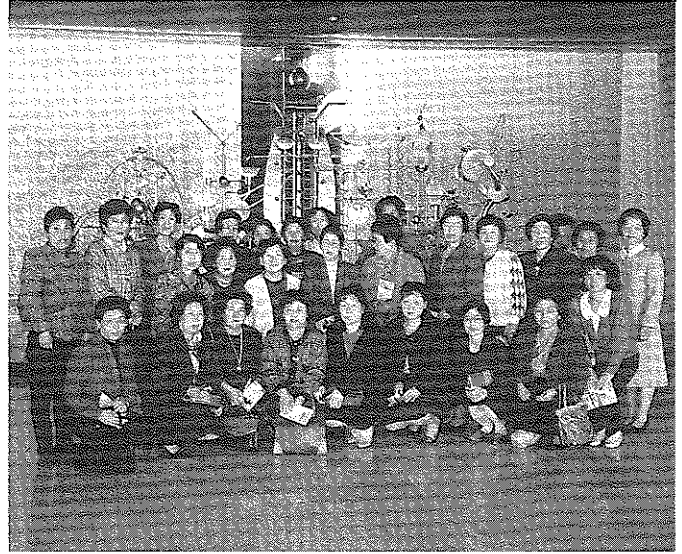
また、介護をうけている人達にとっては、一日でもおいておかれては生活が成り立たない。介護者への依存度の強いのは家族愛の表れである。ともすれば、家族と共に生活することができない社会風潮の中では素晴らしいことである。

その介護者のご苦労の一助になれればと願っても、人の世の生活の難しさが思いやられる。

早い機会に、一日位は何の心配もなく外出できる介護者の生活を確保したい。それが行政や、社協、地域の人達の配慮なのであろう。



ボランティアの交換研修に



茨城都民が住むといわれる取手市より西に十軒位で接する発展著しい振興の地、守谷町がある。

都市近郊地帯とあって、東京方面からの人口の流入が大きい地域であり、人口も四万人になろうとしている。従って住む人達の意識も高いものがある。当然のことながら人の生活の保障基盤となる福祉に目を向ける人々も多く、ま

た関心も高い地域で、ボランティア活動も県南地域では早くから活発に行われているところである。

今年の我が村ボランティアの皆さんの交換研修の場をこ守谷町にお願いをした。

一行三十四名は、隣接するアサヒビール工場からの寄贈建立された国際交流研修センターという丸木造りの文化的匂いのする会場に案内される。

企業の誘致はいろいろな面において地域の活性化に役立つものとあらためて感心する。

守谷町ボランティア協議会の各グループ代表十六名の人達との交流研修が始まる。

まず、相方の出席グループ代表から、活動状況の報告が

北欧福祉先進地国視察

平成三年度から実施された「ふるさと創生事業」の一環として、美浦村人材育成推進協議会から、本会でも伊藤監事と林事務局長が選ばれ、九月二十五日から、十月一日にかけて、「美浦のつばさ」として、デンマーク、スウェーデンの福祉の状況を視察して参りました。

北欧の福祉施策の進んだ国の社会的弱者、特に高齢者の処遇は十分に理解できるものがありました。

百人も生活する高齢者アパートの中に、特別養護老人ホームが併存し、アパートに住む老人達は、このホームからの食事サービスや、一時介護（ショートステイ）などうけることができるようになってきます。

いわば、老人ホームに入所

ある。帰するところは、福祉の思いやり、いたわりの心を根幹とするこの活動に、内容の差はあるが、考え方に大きな差はない。

自分達の活動に自信をもちかつ、今後の活動の糧となる研修に全員満足したのではな

したと同様な生活を営むことができるようになっていく。

これを、施設との混住社会といわれるが、年金生活の高齢者が、国家保障により運営されている老人ホームと隣り合って、安心して暮らせることは、素晴らしいことでもあります。

ただ、福祉はすべて国家保障のお国柄なので、ボランティア活動が無かった。

だが、我々の地域では、北欧なみの福祉を望むことは、税の負担あるいは、日本の風土、慣習の経過のなかで、早急には難しいことであろう。

親も、子も、親族も、友人も、人間と



かろうか。

守谷町社協を始め、ボランティアの皆さんに感謝を申しあげるとともに、お互いの今後の活動を誓い合い、午後は隣接するビール工場を見学し社会研修と併せ実施いたしました。

してのかわりがなくなってしまうのではないかと思います。人の心のいたわりと、たすけあい、私達の日常の社会生活の基本にあるのだらうと視察後のあらためての思いであります。

(林 記)

共に参加しよう ホープ作業所へ

江戸崎町の運営する心身障害者通所授産作業所「まごころ荘」に通っていた本村の障害者三名が、一月からホープ作業所に参加した。

当初は本村に適当な授産所が無かったため、江戸崎町に世話になっていた人達である。急に大世帯になったような雰囲気、仲間意識も強くなり、ローソクの箱詰めにも活気があり、意欲が出て来た。

彼らの戸外のボール廻し遊びも楽しそうであり、顔色も明るくなったように思える。

加えて、舟子、浜、宿地区老人クラブ会員が、内職作業に参加してくれたことがある。障害者達も、ボランティアグループの人達と、あらたに老人クラブの人達が増えたので、来てくれるのを待つようになった。

「ともに生きる人間のまち



保育園児に囲まれて喜寿の祝

可愛い孫達（木原、大谷保育所園児）のお遊ぎや、踊り、孫達の作った紙の首飾りをかけてもらったの肩たたき。

高齢者社会への一つの節目の、本会事業の喜寿の祝。

出席されたおじいちゃん、おばあちゃん。さすがに細目になられた眼は、今日はさらに細くなり幸福そう。

この子達よ。私達より幸福になりなさいよ。……と訴えるような和らかい表情にくずれて楽しいひとときを過ぎました。（十一月十九日福祉センターで四十名出席）



保育園児と高齢者との交流会

……」地域の人達の社会参加が広まってくることは、高齢化社会における、たすけあい、いたわりあいの表れである。このホープ作業所への地域の人々の参加は、どれだけ障害者の心の支えに測り知れないものがあると思う。

また、一方ではボランティア活動による障害者の自立を励ます一助となっていることもたしかである。

皆様方の積極的な参加をお待ちしております。



「アッ飛んだ!!」老人クラブのおじいちゃんから、手をとって教ってやっとの思いで飛んだ竹とんぼ。幼い顔に喜びが一杯に溢れて。……

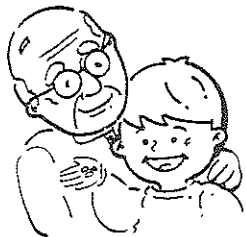
この竹とんぼは、木原保育所の男子園児全員にあげられるようにと、木原地区老人クラブ十三名が半日かかって作ったものである。

その他にも、数十年前の姿に戻って黙々として作りあげた竹馬。おばあちゃんの作ったお手玉をプレゼントして、時間の過ぎるのも忘れるほどの高齢者との交流。

世代の離れた人々の出会いに、ともにどんな思いで心に残ることだろうか。

お部屋の中では園児たちの合唱を鑑賞。おいしいおひるのごはんを食べて。

高齢化社会の進むなか、お年寄りとの交流は、この子達にとって将来の大きな心の財産になって欲しいものである。



善意を拡めよう!

社会福祉協議会には、いろいろな方々から善意の寄金があります。

このお金は、いうまでもなく、ひとりぐらしや、寝たきり老人、あるいはボランティア活動の財源となる、貴重な弱者に対するいたわりの心の表れであ

ります。

今回も、多くの善意が寄せられました。本会で各事業に配分のうえ使わせていただきます。

ありがとうございました。

やまゆり基金

氏名	金額
美浦村区長会	94,000円
美浦歌謡連盟	150,000
美浦村チャリティゴルフ	150,000
奥平厩舎一同	300,000
常陽新聞厚生文化事業団	100,000

善意銀行

氏名	金額
石川 修	10,000円
宮本 珠算塾	2,450
匿名	5,000
中島 恵・中島 望	2,414
山田 真理	516
美浦歌謡連盟	50,000
匿名	5,000
児童館ごった煮会	5,710
ボランティアフェスティバル売上金	7,050
浅野 栄一	20,000
山本 泰全	50,000
木原 保育所	4,413
美浦ダンス愛好会	21,756
細谷建設工業㈱美浦営業所	17,342
アップルクラブバザー益金	30,000
県南労働者福祉協議会	50,000
美浦村チャリティゴルフ	50,000
民生委員一同	60,000
高橋 利夫	30,000
老連生産クラブ	50,000

愛の募金箱

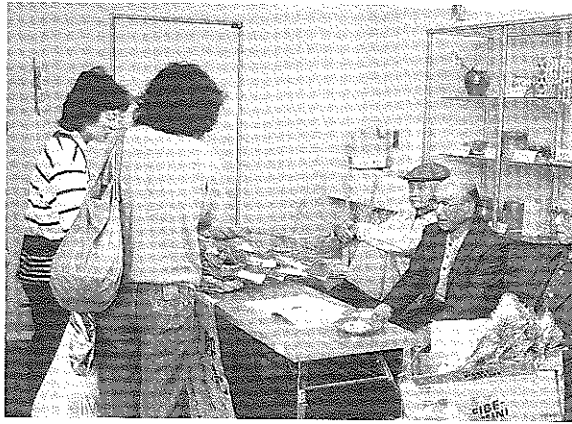
氏名	金額
いしばし 石油	530円
鈴木 スタンド	742
常陽 銀行	7,826
社協 窓口	4,420
公民館 窓口	11,873
役場 窓口	3,839
柳堀 石油	4,882
美浦中央病院 窓口	2,837
小沢 石油	2,569
本橋 石油	2,366
稲敷農協安中支所	2,295
美浦農協	3,763
社協 窓口	2,787



生産クラブで善意銀行へ

なわ作りを始めてはや三年となる。老連生産クラブ(部長宇津木忠三郎)もその技量を認められ、作品を村の秋の文化祭に展示、予約販売をした。

村人からの注文の多さに応じ切れず、嬉しい悲鳴をあげ



る状態となった。これも、約六十名の会員の努力の結果である。

種子粉の管理から、種子蒔、苗代、田植え、施肥、除草、水の管理、真夏の青草の刈り取り、乾燥保管と、一本の飾りを作るには並々ならぬ努力と、努力と協力を必要とする。

年の瀬迫って、茨城放送から、クラブ会員の活動状況の取材に来てくれた。

老人の生きがい活動を世に紹介してくれるために。そして長寿社会における高齢者の生き方のお手本が、この美浦村でも展開されている。

今年、利益金の一部として五万円の大金を社協に寄贈してくれた。まさに善意の寄金

であり、高齢者の美しい行為である。長寿社会に生きる高齢者の鑑みであろう。

今後も、毎年村民から喜ば

大谷小学校児童会の善意

大谷小学校児童会のみなさんの一円玉募金四三、七七〇円を、役員の二本柳朗君、鈴木耕生君、中島紫穂さんの三人が、先生の引率により、わざわざ社協へ届けてくれた。

り老人、身体に重い障害を持つ人達などに配分することをお話しました。

また、老人福祉センターの設置目的や、障害者が毎日通って作業をしているホープ作業所を見学していただきました。

冬の夜をダンスで

益金は善意へ

赤・青・黄・橙の光がまぶしく、美しく交さくする華やいだ雰囲気館内に一杯醸し出され、近隣村外からまで駆けつけてくれた老若男女の楽しそうに踊る社交ダンス。

チャリティパーティとあって、市川美浦村長も謝辞のために訪れて下さり、さらに慣れぬながら踊りの輪の中に入っていただき、凍てつく大寒前の楽しい一夜でした。

れるなわを、安価にいつまでも供給していただけるようお願いをしたい。



美浦ダンス愛好会(代表塚田攻)から当夜の益金二万千七百五十六円を善意銀行に寄贈されました。

多くの村民が、社交ダンスを踊れるようになると、なお交流の輪が大きくなることでしょう。



いろいろな方から寄せられた善意

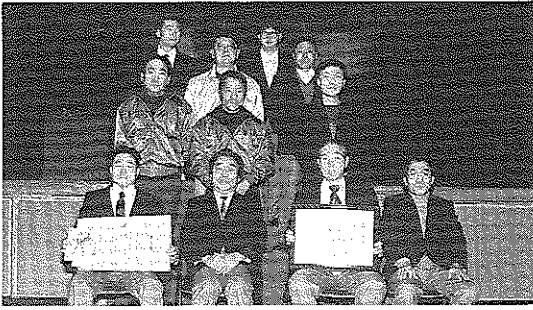
表彰

県関係

十二月七日、水戸市文化センターにおいて第四十一回茨城県社会福祉大会が開かれ、社会福祉貢献のあった次の方が表彰されました。

表彰状

● 本会の理事として永年その職責を果された功労として、
● 増尾正義氏 美浦村大谷
● 感謝状
● 永年に亘り、多額の金品を本会に寄贈された。
● 奥平厩舎一同 美浦村美駒
● 美浦歌謡連盟代表糸賀武二



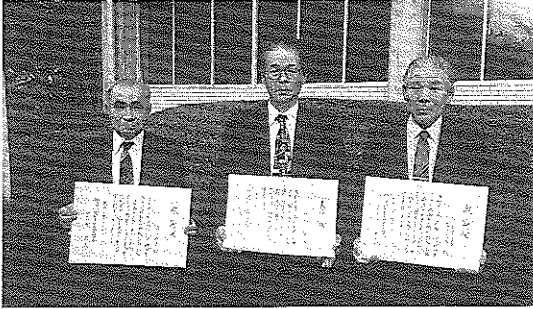
郡関係

平成三年度稲敷郡社会福祉大会が十月八日、桜川村中央公民館にて開催、次の方が表彰されました。

● 矢作和子 美浦村美駒 2500
● 金家高子 美浦村美駒 2500

● 美駒ボランティア会員として長年積極的な地域福祉活動をとりくんできた。
● 菅谷辰之助 美浦村舟子
● 菅谷 すい

夫婦して地域に住む、重度の障害者の援助をしてきた功績。



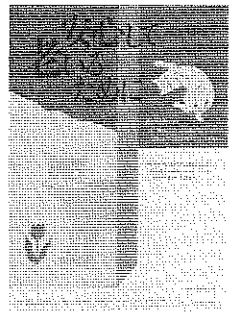
お知らせ

みんなで見よう、考えよう!!

「安心して老いるために」映画会の観賞

● 老人性痴呆となったり、あるいは寝たきり老人となつた人たちが人間としての尊厳をもって、安らかに生き通すにはどうしたらよいか。
● このことを、一人でも多くの人に理解して欲しいという思いで作られた、この映画の作家であり、演出者である羽田澄子さんの言葉であります。
● 本村でも、子どもの地域社会で起りうる「みんなの問題」として考えるため、美浦村ポ

ランティア連絡協議会(山崎良江会長)が主催となり、村内各関係機関の協力を得て、来る五月二十四日に映画会を開催することになりました。
● 村民全体の取り組みとしてこの映画会を成功させるために、皆様方の御参観をお願いいたします。
● 詳細は各関係者から四月に入ってお誘いをいたしますので、是非ご鑑賞ください。



あとがき

広報とは大変難しいものとおねに思い続けてきた。いかにして情報を的確に伝え、理解していただくのか。社協広報は、皆様方の福祉への参加をお誘いできるような内容でなければならぬと思う。

● 実際は、担当者の主観となりひとりよがりの内容となってしまうのだからと危惧しながら九号まで担当した。
● 皆様方の誌面とならなかつたことをお詫びとし、今後のご愛顧を願うものである。
(事務局)

心配ごと相談の変更

● 村民の皆様方の心配ごとや、悩みごとを、ともに分かちあつての相談をうけておりますが、平成四年度から次のように変更いたしますので御利用下さい。

- ◆ 四月一日から
- ◆ 毎週月曜日(祝祭日は翌日)
- ◆ 午後一時から三時まで
- ◆ 場所 福祉センター

